

『障害者スポーツ』を通じて障害者の生涯学習を考えよう 第1回 「障害者スポーツ」について知ろう 実施レポート

日時：令和元年7月3日（水） 18時30分～20時

会場：秋田県生涯学習センター 4階 第一研修室 参加者：14名

あらゆる人にさまざまな学習の場や機会が提供されるべき生涯学習ですが、「障害者の生涯学習」については、後回しにされている印象があります。そのような障害者の生涯学習について、「障害者スポーツ」を切り口に考えていくこの講座。3回シリーズの1回目は、「障害者スポーツ」について知るところからスタートしました。

【障害者の生涯学習講座について】

最初に、当センターの柏木睦主任社会教育主事から、本講座の導入として、「生涯学習とは何か」「障害者の生涯学習の現状」「当講座のねらい」など、障害者の生涯学習講座について説明しました。

【障害者スポーツについて】

次に、秋田県障害者スポーツ協会の佐藤慶子スポーツ推進員から、障害者スポーツについて講話をしていただきました。健常者のスポーツは、そのスポーツに合わせて身体能力を高めたり、鍛えたりするのに対し、障害者のスポーツは、スポーツを人間に合わせ、「安全に」「楽しく」「公平に」行うことができるように工夫するという話に、参加者は驚いていました。

種目の説明では、実際に道具を触りながら話を聞くことができたため、イメージを膨らませることができました。「障害があるからできない」ではなく、「どんな工夫をするとできるか」を大切にしてほしい、障害者一人一人が楽しめるスポーツを「創る」こともできるというお話が印象的でした。



＜障害者のスポーツについて理解を深めました＞

【障害者スポーツ実践者から】

続いて、車いすバスケットボールに取り組んでいる、秋田市身体障害者協会の中川隆事務局長から、障害者スポーツ実践者のお話ということで、講話をしていただきました。

まずは、中川さんの車いすのスムーズな動きに全員びっくりでした。2種類の回転方法、前輪の浮かせ方、本当にすごいものでした。

障害者スポーツの話だけでなく、子どもの頃に松葉杖を使っていたことや、仕事をして思ったことなども話してくださり、車いすで生活している中川さんの気持ちに触れることができました。

「できることが自信につながる」「人に迷惑をかけないために、どうしたらできるかをいつも考えて工夫している」の言葉は、生き方として深く考えさせられるものでした。



＜実演を交えながらの講話＞

【ガヤガヤタイム】

最後は参加者同士で自由に語り合う「ガヤガヤタイム」を実施しました。心が動いた時は誰かと話したくなります。インプットだけでなく、アウトプットしながら、より深い学びをめざしました。佐藤さんと中川さんから共通してでていた「工夫」という言葉についての話、中川さんの話を聞いて、障害者に対する意識が変わった話など、短い時間でしたが、皆さん一生懸命に語り合っていました。



【参加者の声】（抜粋）

- ・今日、参加したことをきっかけとして、障害をもっと当たり前に考えられるようになりたい。
- ・指導や支援ではなく、仲間として一緒に関わることができる会やサークルができたらなあと思った。
- ・父が障害者で、あまり理解してあげられないまま亡くなってしまった。いろいろな思いをこめて参加させてもらった。
- ・具体物を提示してもらい、障害者スポーツの理解が深まった。中川さんの話が説得力があった。

『障害者スポーツ』を通じて障害者の生涯学習を考えよう 第2回 「障害者スポーツ」を体験しよう 実施レポート

日時：令和元年7月14日（日） 13時～14時30分
会場：県勤労身体障害者スポーツセンター 参加者：18名

障害者の生涯学習について、「障害者スポーツ」を切り口に考えていく3回シリーズのこの講座。1回目に「障害者スポーツ」について知り、今回は実際に「障害者スポーツ」に挑戦してみました。障害の有無は関係なく、たくさんの笑顔があふれる体験となりました。

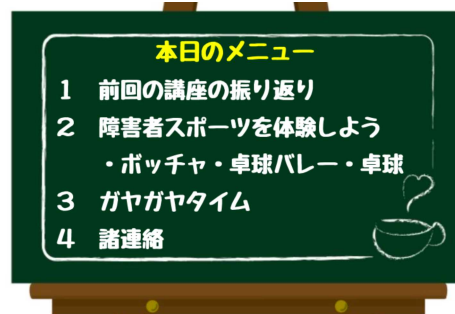
【前回の講座の振り返り】

最初に、当センターの柏木睦主任社会教育主事が、前回の内容を簡単に振り返りました。障害者スポーツは、スポーツを人間に合わせて「工夫」して楽しめるようにしていること、障害者スポーツの実践者からは、「どうしたらできるかをいつも考えて工夫している」という話があったことから、「工夫」がキーワードになっているので、今日もそれを意識してほしいことを伝えました。

【障害者スポーツを体験しよう】・ボッチャ・卓球バレー・卓球

次に、秋田県障害者スポーツ協会の佐藤慶子スポーツ推進員から、準備運動の後、それぞれの種目のやり方を説明してもらいました。また、今日のために、普段、県勤労身体障害者スポーツセンターで活動している障害者スポーツ実践者の方が7名、お手伝いに来てくれました。「安全に」「楽しく」「公平に」行うことができるように工夫されていることに、参加者は驚いていました。

その後、3グループに分かれ、「ボッチャ」「卓球バレー」「卓球」を体験しました。また、合間には「車いすバスケットボール」を体験した人もいました。



<ボッチャ>



<卓球バレー>



<卓 球>

印象的だったのが、会場にあふれていた笑顔と歓声です。どの種目も、いすに座るだけで視線が変わり、ちょっと難しくなります。でも、その工夫をするだけで公平になり、健常者も障害者も心から一緒に楽しみ、笑顔と歓声があふれ、一体感が醸し出されます。1種目あたり15分程度の体験でしたが、前回の講座でキーワードとなった「工夫」を、体感することができました。



【ガヤガヤタイム】

最後は参加者同士で自由に語り合う「ガヤガヤタイム」を実施しました。参加者だけでなく、障害者スポーツ実践者の方も一緒に入って話してくれました。「楽しかった、またやりたい」の声がたくさん聞かれました。

※講座終了後…

ある障害者スポーツ実践者の方から握手を求められました。「健常者の方とこんなふうと一緒に楽しむことは今までなかった。本当にありがとう！ぜひまた一緒にやりましょう！」こちらこそ感謝です！またぜひお願いします！

【参加者の声】（抜粋）

- ・楽しすぎました。
- ・自分の体力や障害の程度に合わせて楽しめるものが多い。経験することが大切。
- ・動きに制限がかかることによって、むしろ普段体感できない巧みな技術や軽快な身のこなし方等を味わうことができ、新しい世界が広がった。

『障害者スポーツ』を通じて障害者の生涯学習を考えよう 第3回 「障害者スポーツ」について語ろう 実施レポート

日時：令和元年7月17日（水） 18時30分～20時
会場：県生涯学習センター 4階 第一研修室 参加者：14名

障害者の生涯学習について、「障害者スポーツ」を切り口に考えていく3回シリーズのこの講座。1回目に「障害者スポーツ」について知り、2回目は実際に体験。今回はその経験をもとに、「障害者の生涯学習」について語り合いました。小学生から80代まで幅広い年代の人たちが集まったほか、障害者スポーツ実践者の方も3名来てくださり、様々な視点から話が盛り上がりしました。

本日のメニュー

- 1 前回までの振り返り
- 2 障害者スポーツについて語ろう！
「ワールド・カフェ」
- 3 諸連絡

【前回までの振り返り】

最初に、当センターの柏木睦主任社会教育主事が、1回目の講座の様子や、2回目の体験の様子をスライドで紹介し、前回までの内容を振り返りました。体験での笑顔あふれるスライドを見て、健常者も障害者も関係なく、みんなが楽しかったという思いをあらためて共有し、心の壁はすぐに壊せることを確認しました。

障害者スポーツについて語ろう「ワールド・カフェ」

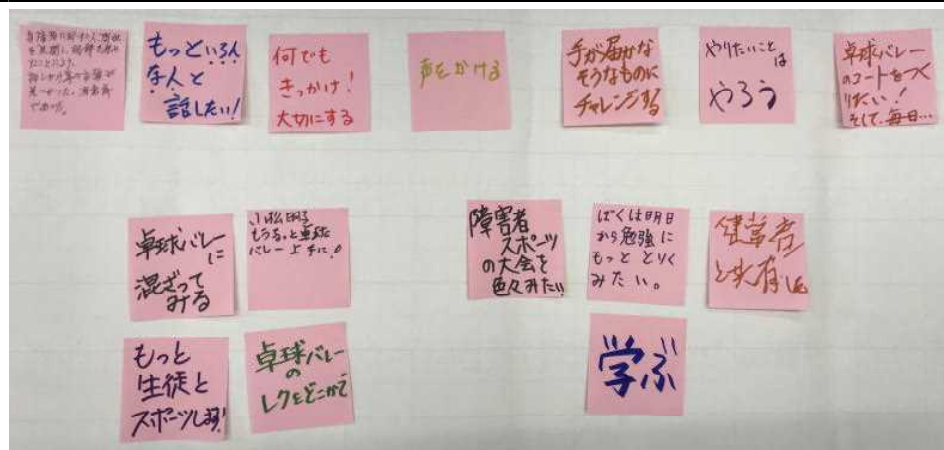
今回は、障害者スポーツについて知ったことや体験したことをもとに、いろいろな人と語り合うため、ワールド・カフェを行いました。お茶を飲みながら、リラックスした雰囲気の中で、グループを変えながら、自分の思いを話していきました。最後に「明日から自分が取り組みたいこと」を付箋に書き、一人一人が思いを発表しました。たくさんの思いがこもった発表に、みんなで拍手を送り合い、笑顔があふれました。

秋田県障害者スポーツ協会の佐藤慶子スポーツ推進員からは、今回の講座を通じて、障害者スポーツについて理解を深めた人がたくさんいたこと、これからも興味関心をもってほしいことなどのお話をいただきました。

卓球バレーを始めるのにどんな道具を揃えればいいのかという質問には、セットでも販売しているが、卓球台がなければ机をつけてもいいし、専用の板がなければ代用の板でもいいという具合に、「～がなければできない」ではなく、「あるものでやる」という「工夫」をしてほしいという回答をしてくださり、みんな納得でした。講座を通して伝えられていた大切な心構えでした。



<ワールド・カフェ>



「明日から自分が取り組みたいこと」

もっとやりたい、知りたい、新しいことにチャレンジしたい、実際にレクを企画したい、様々な思いがここにはあふれていました。この講座がそのきっかけになったのであれば、大変嬉しいです。

講座終了後…

ある障害者スポーツ実践者の方とお話をしました。「今日とはとても楽しかった！普段、なかなか言えないことを、今日はのびのび言えた！本当にありがとう！」少しの時間、一緒にスポーツをただけで、こんなにも心の壁がなくなるものなのですね。自分にできること、いっぱいあると感じました。こちらこそ、本当にありがとうございました！わざわざ来てくれて本当に嬉しかったです！

【参加者の声】（抜粋）

- ・一緒に何でも話せる雰囲気が最高でした。
- ・とても有意義な会でした。また明日からがんばろうと思いました。
- ・大変参考になりました。自由な雰囲気です、「共生の生涯学習」を実感でき、貴重な体験でした。
- ・生涯学習センターを卓球バレーの聖地にしてほしい！